

# トロピタオレンジについて

宮迫一郎\*・宇都文男\*

Miyazako, I. & Uto, F. On the Trovita Orange

本邦の暖地においてスポートオレンジを栽培する場合その気象条件からして結実性高く、カンカー抵抗性の高い品種を求めることは要急の問題であるが、主要品種たるワシントンネーブルは、遺歴乍ら結実性低くカンカーの発生は多いので増殖は停とん状態にある。そこで、垂水柑橘分場においてはスポートオレンジの各品種を導入試作しているが、その内、トロピタは見るとべき成績を示した。本種は昭和12年米国から園芸試験場に導入されたもので、その起源はワシントンネーブルの無性胚発生から得たものと云われる。

1. 樹について 昭和23年園芸試験場より穂木の

配布を受け、温州蜜柑に高接した。樹勢は強いが結実性が高いのでよく開張する。枝条はワシントンネーブルに比し稍粗で長く、葉も長大である。刺は殆ど無い。発芽期、開花期はワシントンネーブルに比し夫々、5

第1表 枝葉の特性

	母枝の長	母枝上の葉数	葉身長	葉身巾	葉柄長	発芽期	開花期
	cm	枚	cm	cm	cm	月日	月日
トロピタ	10.4	5.9	12.3	5.7	1.9	2.25	4.27
ワシントンネーブル	9.0	6.1	10.0	4.5	1.7	2.20	4.20

第2表 果実特性表\*

	横径	縦径	果指数	重量	比果	果肉の歩合	果実の歩合	皮厚率	室数	じょうの厚さ
	mm	mm		gm		%	%	%		mm
トロピタ	80.54	70.92	1.13	231.5	0.87	71.91	28.09	9.17	10.9	0.23
ワシントンネーブル	76.22	73.07	1.04	217.1	0.92	75.87	24.13	8.88	10.25	0.19

	果汁歩合	可溶性固形物	くえん酸	甘味比	合核数			カンカー被害度	熟期
					完全	不完全	計		
トロピタ	44.77	11.19	0.80	14.02	8.97	2.2	11.17	++	1月中旬
ワシントンネーブル	45.32	11.79	0.82	14.39	0.77	0.73	1.5	+++++	1月中旬

\* 昭和27年～29年 3ヶ年間平均。 毎年1月下旬調査。

\* 鹿児島県農業試験場 垂水柑橘分場

## 7. 日遅い.

結果習性はワシントンネーブルの着花過多で結実性の低い傾向があるのに比し、トロピタは着果は少いが結実性は極めて高い傾向にある。樹容積 1 m<sup>3</sup> 当 14 個内外着果する。カンカーに対する抵抗性は稍弱い程度でワシントンネーブルに比べると格段の差がある。

2. 果実について 果実の特性は第 2 表の通りで、大きさはワシントンネーブルに比べ若干大きく、稍扁球形をなし臍を欠く。果色はワシントンネーブルよりも濃厚で果皮が幾分厚い傾向がある。肉質は柔軟多汁、

爽快な香気を有し甘味比は高く品質優良である。通常 5~12 個の完全種子と、2~3 個の不完全種子を含む。

3. 将来性について 大体以上の如く樹勢旺盛で、結実性は高く、比較的カンカー抵抗性はあるようで、その果実はワシントンネーブルに比し優るとも劣らぬ形質を有する。従つて生食用としてもよく、また、淡白な温州ジュースに芳香と活ばつな味を与えるための同時搾汁混合用原料としても極めて有望なものと思われ、目下冬期温暖な地帯に試作中である。